

# 生活科の研究

## 1 生活科で目指す子ども

身近な人々、社会及び自然（以下：学習対象）の特徴や価値を追究する活動を通して、学習対象に対する気付きの質を高める子ども

生活科では、具体的な活動や体験を通して、自立し生活を豊かにするために必要な資質・能力を育成することが求められている。当校では、育成すべき資質・能力を右頁のように設定している。そして、様々な内容において資質・能力を発揮させ、自覚させることで育成を図っている。

資質・能力を育成するためには、子どもが「身近な生活にかかわる見方・考え方」を働かせながら学習対象とかかわったり、学習対象とのかかわりを振り返ったりすることが大切である。「身近な生活にかかわる見方・考え方」が資質・能力を発揮するための鍵となるからだ。

子どもは、「身近な生活にかかわる見方・考え方」を働かせながら、「見付ける」「比べる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動を行い、繰り返し学習対象に働き掛けることである。このような学習過程の中で、思考力・判断力・表現力を発揮し、学習対象に対する気付きの質を高めていく。

また、この資質・能力を育成する過程で、「地域に愛着をもち、自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりしようとする態度」「自分と身近な人々、社会及び自然に進んで働き掛け、自分たちの遊びや生活をよりよくしようとする態度」「意欲と自信をもって生活しようとする態度」も育成される。このように様々な資質・能力を育成できるところに価値がある。

## 2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第1学年

学習対象を自分とのかかわりでもらえながら、学習対象の特徴や価値に気付く子ども

三星は、内容（4）～（8）において、前述の子どもを目指す。

そのために、子どもが知らない事実や子ども同士の中で認識が異なる事実を提示し、驚いたことを問う。「身近な生活にかかわる見方・考え方」を引き出すためである。子どもは、これまでの知識や経験を想起し、ずれを感じる。その後、これから考えたいことを問う。「身近な生活にかかわる見方・考え方」を明確にするためである。子どもは、学習対象がもっている特徴や価値に関する問いをもつ。

次に、学習対象がもっている特徴や価値に子ども自然と気付くことができるように日にち、時間帯、かかわる人などを工夫した場を設定する。この場は、例えば、見る、聞く、ふれる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接学習対象に働き掛ける活動を行う。この活動により、子どもは、学習対象と自分とのかかわりについて考えながら、学習対象の特徴や価値にかかわる事実気付く。

活動後は、気付きを交流する場を設定する。一人一人の子どもの気付きを関係付けさせるためである。このような一連の学習過程を経て、学習対象の特徴や価値に気付く。

単元終末には、国語の「書くこと」との関連を図った振り返りの場を設定する。この働き掛けは、年間を通して行う。子どもは、学習を通して発揮した資質・能力を自覚する。

### 3 生活科の学習で働かせる「見方・考え方」

	学校、家庭及び地域の生活にかかわる内容	身近な人々、社会及び自然とふれあったりかかわったりする内容	自分自身を見つめる内容
見方・考え方	○学校、家庭及び地域を自分とのかかわりでとらえる	○身近な人々、社会及び自然を自分とのかかわりでとらえる	○過去の自分と現在の自分に着目する
	○自分自身や自分の生活と気付いたこととを関係付けて考える ○既有的知識や経験と気付いたこととを関係付けて考える		

### 4 生活科で育成する資質・能力

	学校、家庭及び地域の生活にかかわる内容	身近な人々、社会及び自然とふれあったりかかわったりする内容	自分自身を見つめる内容
①知識・技能	○身近な人々、社会及び自然のよさや素晴らしさ自分とのかかわりに気付くこと ・学校での生活は様々な人や施設とかかわっていることに気付くこと 【内容(1)】 ・家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くこと 【内容(2)】 ・自分たちの生活は様々な人や場所とかかわっていることに気付くこと 【内容(3)】	○活動のよさや大切さに気付くこと ・身の周りにはみんなでつかうものがあることとそれらを支えている人がいることに気付くこと 【内容(4)】 ・自然の様子や指揮の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くこと 【内容(5)】 ・遊びの面白さや自然の不思議さに気付くこと 【内容(6)】 ・動植物が生命をもっていることや成長していることに気付くこと 【内容(7)】 ・身近な人々とかかわることの楽しさに気付くこと 【内容(8)】	○自分のよさや可能性に気付くこと ・自分が大きくなったことに気付くこと 【内容(9)】 ・自分でできるようになったことに気付くこと 【内容(9)】 ・役割が増えたことに気付くこと 【内容(9)】
②思考力・判断力・表現力	○自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考える力 ・学校の施設の様子や学校生活を支えている人々と自分とのかかわりについて考える力 【内容(1)】 ・過程における家族のことや自分でできることについて考える力 【内容(2)】 ・地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々と自分とのかかわりについて考える力 【内容(3)】	○工夫したり楽しんだりする力 ・公共物や公共施設の特徴や価値を考える力 【内容(4)】 ・季節の違いや特徴を見つける力 【内容(5)】 ・遊びや遊びに使う物を工夫して作る力 【内容(6)】 ・動植物の育つ場所、変化や成長の様子について考える力 【内容(7)】 ・伝えたいことや伝え方を選択・判断する力 【内容(8)】	○自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考える力 ・自分の生活や成長について考える力 【内容(9)】 ・自分のことや支えてくれた人々について考える力 【内容(9)】
③態度	○地域に愛着をもち、自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりしようとする態度 ・楽しく安心して遊んだり生活したりしようとする態度 【内容(1)】 ・自分の役割を積極的に果たそうとする態度 【内容(2)】 ・地域に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする態度 【内容(3)】	○自分と身近な人々、社会及び自然に進んで働き掛け、自分たちの遊びや生活をよりよくしようとする態度 ・公共物や公共施設を大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする態度 【内容(4)】 ・季節の特徴を自分の生活に取り入れようとする態度 【内容(5)】 ・みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする態度 【内容(6)】 ・生き物への親しみをもち、大切にしようとする態度 【内容(7)】 ・身近な人々と進んで交流しようとする態度 【内容(8)】	○自信と意欲をもって生活しようとする態度 ・これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする態度 【内容(9)】